

第4回理事会報告

- 日 時 令和5年1月31日（火）午後3時30分～同5時
オンライン（Zoom）開催
- 出席者 <会 長> 住友雅人
<副 会 長> 松村英雄、川口陽子
<総務理事> 小林隆太郎
<常任理事> 石井信之、弘中祥司、井上富雄、鄭 漢忠、
天野敦雄、新谷誠康、水口俊介、秋山仁志、
細川隆司
<理 事> 佐藤真奈美、林 美加子、馬場一美、齋藤 功、
都留寛治、浅海淳一、飯島毅彦、渋谷 鑛、
尾崎哲則、松野智宣、小笠原 正、依田哲也、
豊澤 悟、奈良陽一郎、佐久間克哉、吉成伸夫
<オブザーバー>
市川哲雄（日本学術会議歯学委員会委員長）
森山啓司（国際歯科研究学会日本部会<JADR>会長）
片倉 朗（日本口腔科学会理事長）
恒石美登里（日本歯科総合研究機構主任研究員）
- 欠席者 <常任理事> 尾松素樹、津田勝則、小方頼昌
<理 事> 安井利一、今井 裕
- ※【来館出席】住友会長、松村副会長、川口副会長、小林総務理事、
石井常任理事、弘中常任理事

開会に先立ち、小林総務理事より、理事総数 34 名のうち、29 名の出席を得ており、日本歯科医学会規程第 17 条の規定により本理事会の成立していることが報告された。

また、本学会理事会に初めて出席する先生が紹介され、細川常任理事、依田理事、森山 JADR 会長、片倉日本口腔科学会理事長より、自己紹介がなされた。

[議長 小林総務理事]

1. 開 会

松村副会長から、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

小林総務理事から、次の資料に基づき報告。

一般会務報告（令和 4 年 4 月 26 日～同 5 年 1 月 30 日）

第 3 回常任理事会報告（令和 4 年 4 月 26 日開催）

第 3 回理事会報告（令和 4 年 4 月 26 日開催）

第 4 回常任理事会報告（令和 4 年 12 月 20 日開催）

(2) 各種委員会開催状況について

小林総務理事から、標記について、資料に基づき報告。

(3) 専門・認定分科会への情報提供

小林総務理事から、前回理事会（令和 4 年 4 月 26 日）以降の情報提供項目 20 件について資料に基づき報告。

(4) 役員派遣

小林総務理事から、本執行部発足以降の 56 件の役員派遣について資料に基づき報告。

2) 会計現況報告

事務局から、学会会計収支計算書（令和 4 年 4 月 1 日～同 11 月 30 日）に基づき報告。

3) 第 25 回日本歯科医学会学術大会報告

川口副会長から、令和 4 年 4 月 26 日から同 5 年 1 月 30 日までの第 25 回

学術大会報告について資料に基づき報告。

4) 役員・評議員等の変更について

小林総務理事から、標記について、下記の通り報告。

役 職	新	旧	所 属
理 事	都留寛治	早川 徹	日本歯科理工学会
評 議 員	谷本安浩	服部雅之	
予備評議員	新谷明一	都留寛治	
常任理事	細川隆司	宮崎 隆	日本口腔インプラント学会
評 議 員	渡沼敏夫	細川隆司	
予備評議員	近藤尚知	阪本貴司	
理 事	依田哲也	鱒見進一	日本顎関節学会
評 議 員	岡本俊宏	依田哲也	
学術研究 委員会委員	松本卓也	二瓶智太郎	日本歯科理工学会

※日本歯科理工学会理事・評議員等の就任時期は令和4年5月21日

※日本口腔インプラント学会の理事等の就任時期は令和4年8月10日

※日本顎関節学会の理事・評議員の就任時期は令和4年9月28日

※日本歯科理工学会の学術研究委員会委員の就任時期は令和4年10月17日

5) 日本歯科医学会役員の業務分担の変更について

小林総務理事から、利益相反管理担当が鱒見理事から依田理事に交代した旨報告。

6) The Japanese Dental Science Review (JDSR) の編集と出版について

松村副会長から、第109回評議員会(令和5年2月24日開催)で報告予定の標記に関し、第108回(同4年6月3日開催)以降の変更点について報告。

7) 研究倫理審査申請書 審査結果について

川口副会長から、標記について資料に基づき報告。

研究課題名：コロナ禍における介護老人保健施設入所者に対する口腔健康管理の状況調査

実施責任者：日本歯科医師会常務理事 小玉 剛

審査結果と通知日：2022年11月29日承認

8) 利益相反申告書 審査結果について

松村副会長から、標記について資料に基づき報告。

研究課題名：コロナ禍における介護老人保健施設入所者に対する口腔健康管理の状況調査

実施責任者：日本歯科医師会常務理事 小玉 剛

利益相反の有無と該当項目：無し

審査結果：問題なし

9) 新歯科医療機器・歯科医療技術産業ビジョン（令和4年版）について

小林総務理事から、標記ビジョンの最終版について資料に基づき報告。

また、冊子については、来月2月1日（水）から順次関係方面に配付予定であるとともに、本学会ホームページに掲載している旨確認。

10) 新歯科医療提供検討委員会フォーラムについて

小林総務理事から、令和5年2月27日（月）15:00に開催予定の標記フォーラムについて実施概要案に基づき報告。また、令和5年1月27日（金）から2月24日（金）まで学会HPから申込受付中であることを併せて報告。

11) 日本歯科医師会からの医療技術評価提案に係る要望項目について

小林総務理事から、標記について、「見直しが必要な既存技術」28項目、「将来保険導入すべき新規技術」35項目が提案された。今回は優先度が付されており、各分科会に検討依頼の文書を送付した旨資料に基づき報告。

12) 関連団体からの報告

- ▶ 日本学術会議報告
市川歯学委員会委員長から、標記について資料に基づき報告。
- ▶ 国際歯科研究学会日本部会（JADR）報告
森山会長から、標記について口頭報告。
- ▶ 日本口腔科学会報告
片倉理事長から、標記について口頭報告。
- ▶ 日本歯科総合研究機構報告
恒石主任研究員から、特に報告事項なしとの発言がなされた。

4. 議 題

1) 日本歯科医学会専門分科会資格更新審査に関する件

川口副会長から、標記について、第 5 回専門・認定分科会資格審査委員会（10 月 31 日開催）において、令和 4 年 4 月 1 日に施行した日本歯科医学会専門分科会資格更新取扱い内規に基づき、23 専門分科会の資格更新審査を行った。その結果、更新条件を満たしていると判断したのは 12 学会、更新条件を満たしているが付帯事項付とするのは 9 学会、更新条件を満たさず更新不可と判断したのは 2 学会（日本歯科医史学会、日本顎関節学会）となった。審査結果については第 4 回常任理事会（令和 4 年 12 月 20 日開催）で了承されたことを踏まえ、更新不可と判断した 2 学会に対して条件整備の勧告を行う旨提案があり、承認。

2) 日本歯科医学会専門分科会資格更新取扱い内規の一部改正に関する件

川口副会長から、標記について、（専門分科会の資格喪失）の条項に「専門分科会の資格を取り消された場合、認定分科会の資格更新条件を満たしていれば、学会理事会の議を経て、評議員会において認定分科会に登録されるものとする」との条文を追加し、令和 5 年 4 月 1 日から施行する改正案について諮られ、承認。

3) 専門分科会への加入または認定分科会への登録を申請する専門学会に

係る雑誌（機関誌）掲載論文の審査上の取り扱いに関する件

川口副会長から、標記について、専門・認定分科会資格審査委員会の意見

を踏まえ、四役協議会（令和 5 年 1 月 24 日開催）で議論し、修正・整理した関係内規の改正案について諮られ、承認。

4) 令和 5 年度専門分科会助成金等の配分に関する件

小林総務理事から、標記について、配分基準に則り、令和 4 年 9 月末の会員数をもとに算出した専門分科会への助成金等について諮られ、前年度に比べ、日本口腔外科学会が会員数増により増額したことを確認のうえで、承認。

5) 学会のあり方検討協議会答申の取り扱いに関する件

松村副会長から、標記答申について説明がなされた後、答申の取り扱いについて諮られ、住友会長一任とすることで承認。

6) The Japanese Dental Science Review (JDSR) 発行団体の表示変更に関する件

松村副会長から、標記の件について、「学会のあり方検討協議会」の最終答申書（令和 4 年 11 月 7 日付）に“日歯と学会の融合すべき事業”の一例として、「The Japanese Dental Science Review (JDSR)の発行名義を両団体の併記とする」旨の記載がなされたことから、その対応として、▽日本歯科医学会学術大会は、日歯・学会の両団体の共同開催であること、▽和文誌については、両団体がそれぞれ雑誌を発行していること、▽英文誌については、現在学会発行の表示であるが、予算措置は日歯内部（学会会計）であること等に鑑み、併記方法の具体例を上げながら、答申を尊重する方向性が示され、承認。

7) コンプライアンス調査・普及委員会答申の取り扱いに関する件

小林総務理事から、標記答申について説明がなされた後、答申の取り扱いについて諮られ、住友会長一任とすることで承認。

8) 顕彰審議会答申の取り扱いに関する件

小林総務理事から、今年度より、日本歯科医学会会長賞授賞基準の第 3 条の各項に『日本歯科医学会の活動に多大な貢献をし』という文言が入ったこ

とを確認したうえで、顕彰審議会からの答申書を踏まえ、下記 7 名（研究部門 3 名、教育部門 3 名、地域歯科医療部門 1 名）を学会会長賞授賞者とする
ことについて諮られ、承認。第 109 回評議員会において授賞式を行うことを
確認。

<研究部門>

興地 隆史（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授）

佐々木 啓一（東北大学理事・副学長）

山下 喜久（九州大学大学院歯学研究院教授）

<教育部門>

一戸 達也（東京歯科大学学長）

大浦 清（大阪歯科大学名誉教授）

羽村 章（日本歯科大学生命歯学部教授）

<地域歯科医療部門>

西郷 巖（神奈川県歯科医師会会員）

9) 重点研究委員会答申の取り扱いに関する件

天野常任理事から 1 月 26 日付で提出された「重点研究委員会最終答申書」
の内容説明の後、小林総務理事から答申の取り扱いについて諮られ、住友会
長一任とすることで承認。

10) 第 109 回評議員会の開催（議案）に関する件

小林総務理事から、第 109 回評議員会を令和 5 年 2 月 24 日（金）午後 2
時よりオンラインにて開催することについて諮られ、承認。

次に、令和 5 年度日本歯科医学会事業計画（活動計画）案について諮られ、
承認。日本歯科医学会規程第 14 条の規定に則り、第 109 回評議員会に議案上
程することを確認。

11) 令和 5 年度学会会計収支予算に関する件

事務局から令和 5 年度学会会計収支予算の説明の後、小林総務理事から標
記について諮られ、承認。第 109 回評議員会に「報告事項」としてあげるこ
とを確認。

12) 令和5年度第25回日本歯科医学会学術大会会計収支予算に関する件

事務局から令和5年度第25回日本歯科医学会学術大会会計収支予算の説明の後、小林総務理事から標記について諮られ、承認。第109回評議員会に「報告事項」としてあげることを確認。

13) 第109回評議員会の運営に関する件

小林総務理事から、第109回評議員会の運営についてタイムスケジュール案に基づき説明があり、議案における採決の際はZoomの投票機能を用いることと併せ、承認。

14) 令和5年度諸会議開催予定に関する件

小林総務理事から、現執行部の任期である令和5年6月30日までの会議開催予定について諮られ、承認。

15) 第110回臨時評議員会の開催に関する件

小林総務理事から、日本歯科医学会選挙取扱い内規第9条「選挙は、その任期満了の年の2月の評議員会で行う。ただし、特別の事情あるときは、学会会長は、学会理事会の議決を経てその期日を変更することができる。」に則り、選挙期日を6月の評議員会に変更することについて諮られ、承認。次に、標記評議員会を令和5年6月2日（金）14時より開催することについて諮られ、承認。「日本歯科医学会役員（学会会長）選挙」を議案としてあげて、会議は対面形式で行うこと、ただし候補者が1名で投票行動がない場合はオンライン形式とすることを確認。

16) 日本歯科医学会役員（学会会長）選挙の公示に関する件

小林総務理事から、標記について、令和5年3月31日（金）付けで公示することについて諮られ、承認。

5. 閉 会

川口副会長から、開会の辞。